

令和4年第7回熊野町議会全員協議会

会議録

1. 招集年月日 令和4年8月1日

2. 招集の場所 第1委員会室

3. 開会年月日 令和4年8月1日

~~~~~○~~~~~

4. 出席議員（12名）

|           |           |
|-----------|-----------|
| 1番 水原耕一   | 2番 福垣内邦治  |
| 3番 光本一也   | 4番 中島数宜   |
| 6番 竹爪憲吾   | 7番 諏訪本光   |
| 9番 片川学    | 10番 時光良造  |
| 12番 荒瀧穂積  | 13番 山吹富邦  |
| 14番 山野千佳子 | 16番 大瀬戸宏樹 |

~~~~~○~~~~~

5. 欠席議員（4名）

|          |          |
|----------|----------|
| 5番 尺田耕平  | 8番 沖田ゆかり |
| 11番 民法正則 | 15番 中原裕侑 |

~~~~~○~~~~~

6. 説明のため出席した者の職氏名

なし

~~~~~○~~~~~

7. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

|        |      |
|--------|------|
| 議会事務局長 | 榎並正和 |
|--------|------|

~~~~~○~~~~~

8. 案件

【議会】

- (1) 各常任委員会の活動状況について（報告）
- (2) 議会運営委員会の活動状況について（報告）
- (3) 議会広報特別委員会の活動状況について（報告）

(4) 常任委員会の再編について（協議）

(5) その他

~~~~~○~~~~~

## 9. 議事の内容

（開会 9 時 28 分）

○議会事務局長（榎並） 一つ、御欠席の御連絡が、中原議員さん、民法議員さん、沖田議員さん、尺田議員さんのほうからありましたことを御報告いたします。

それでは、お願いいたします。

○議長（大瀬戸） おはようございます。

議員の皆様方、本日はお忙しい中、全員協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。皆様から様々な御意見をいただきながら本日の全員協議会を円滑に進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

それでは、ただいまから全員協議会を開会いたします。

本日は、議会からの報告案件 3 件、協議案件 1 件について御協議いただくこととしております。

それでは、早速協議に移ります。

報告案件、各常任委員会の活動報告について、各常任委員長から説明を受けたいと思います。

それでは、竹爪総務厚生委員長、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○総務厚生委員長（竹爪） 皆さん、おはようございます。

総務厚生委員会は、7月8日金曜日に、この第1委員会室で協議させていただきました。中身について、協議事項ですけど、令和3年度の主要事業の実績状況、令和4年度の主要事業の概要及び課題等について、ここで協議させていただきました。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

次に、片川文教委員長、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○文教委員長（片川） おはようございます。

文教委員会は、7月26日、主な協議内容といたしましては、令和3年度の主要事業の実績状況、それから令和4年度主要事業の概要及び1学期の状況について等々、意見交換と協議をさせていただきました。それから、3つ目、年間の委員会活動の計画についてということでございます。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

次に、水原産業建設副委員長、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○産業建設副委員長（水原） おはようございます。

産業建設委員会は、7月6日、委員全員出席のもと協議しました。建設農林部、公営企業部から、令和3年度主要事業実績状況と令和4年度主要事業計画の概要の説明を受け、各委員質疑を行いました。その後、今年度の重点調査項目を県道矢野安浦線道路改良工事についてに決め、町道の整備について調査研究していくことを確認しました。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 各常任委員長からの報告が終わりました。

この報告について質疑があればお願いします。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（大瀬戸） それでは、ないようですので、各常任委員会の活動状況についてはこの程度として、次の報告に移りたいと思います。

それでは、報告案件、議会運営委員会の活動状況について、議会運営委員長から説明を受けたいと思います。時光議会運営委員長、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○議会運営委員長（時光） おはようございます。

議会運営委員会は、6月9日、6月定例会について、会期の決定等協議いたしました。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） この報告について何かありましたらお願いします。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（大瀬戸） ないようですので、議会運営委員会の活動状況についてはこの程度として、次の報告に移りたいと思います。

報告案件、議会広報特別委員会の活動について、議会広報特別副委員長から説明を受けたいと思います。竹爪副委員長。

~~~~~○~~~~~

○議会広報特別副委員長（竹爪） 沖田委員長が欠席ですので、私のほうから説明させていただきます。

令和4年4月の5日、4月の12日、4月の19日で122号の記事の最終校正を全部させていただきまして、122号を発刊させていただきました。続いて、6月21日、7月5日、7月12日、7月19日で、皆様にも見ていただきましたように、123号のこの議会広報を発刊することができました。大変ありがとうございました。皆様の記事に対して迅速に提出していただき速やかに済んだこと、ありがとうございました。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） この報告について何かありましたらお願いします。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（大瀬戸） ないようですので、議会広報特別委員会の活動状況についてはこの程度として、次の協議に移りたいと思います。

それでは、これより協議案件、常任委員会の再編について協議をします。

前回、あらあら皆さんの御意見をお聞きしました。様々な意見があるようです。いろんな常任委員会の在り方というのはあると思うので、これからもまた皆さんで協議をしながらよりよい形を求めていきたいと思うんですが、前回といたしまして、出た意見として、今3つある委員会を2つにして、組み合わせとかそういうのはまた別ですが、したらどうかということで、7人と7人に分けるという考え方。それから、現状の3委員会をそのままにして、重複して2つ、重複して加わるという考え方の意見。それから、常任委員会は2つとして、広報特別委員会を常任委員会に格上げして、この広報だけ重複を認めるというような考え方。そういう意見がございました。それから、時期につきましても改選後はどうだろうかというような意見もございました。これ前回の意見でございますが、1か月ぐらいたちましたので、また皆さんの意見がありましたらお聞きしたいと思うんですが、どうでしょうか。御意見ございますか。荒瀧議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○12番（荒瀧） もう一つ、なぜ2人を減したかというのでも出ましたよね、会議の中で定数の。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（大瀬戸） 議員削減。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○12番（荒瀧） それは、今の変更をする原因がそこにあるわけですから、その意見もちょっと、どういう意見が出たか。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（大瀬戸） どういう意見が出たか。どういう意見。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○12番（荒瀧） ちょうどこの2人がおられたんかったわけですし。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（大瀬戸） どういう意見が出ましたか。ちょっと、じゃあ、再現してください。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○12番（荒瀧） わしは覚えてますが、進行役は覚えておられんですか。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（大瀬戸） どういう意見が出たかというのがようわからんのですがね。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○12番（荒瀧） 民法さんと光本さんから意見が出たじゃないですか。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（大瀬戸） 意見。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○12番（荒瀧） 再編の原因の。なぜ2人減らしたのかということから。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（大瀬戸） それは、例えば意見の1つとしては、今、削減の話をぶり返すんじゃないで、前向きにいきましょうという意見とか、あるいは当時、再編のところまでは詰めてはいなかったとか、あるいはそこまで考えてしているとか、そういった意見は出たようですね。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○12番（荒瀧） もっと出ましたよね。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） だから、それは、じゃあ、何ですか。何を、それを言ってください。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 常任委員会を再編する原因はここにあるわけですよ。定数が減ると議決したわけですからね。その原因が何であったのかを聞きたいという意見が出たじゃないですか。賛成された10人の方。で、光本さんの意見からすれば、もっと減らしてもいいと。人口は増えるんだと、意見でしたよね、熊野の人口は。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ちょっと記憶がないですね、人口の話は。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） よう聞いてみてください、発言された方に。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） じゃあ光本議員、何か、それについて何か補足することはありますか。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） 全然、先月言ってもないことも今言ったかのようなことがありましたけども。そもそも話を、2年前の話を今するんじゃないしで、前回も言うたんじゃけど、今の委員会をどうやって、2減の14人になった段階でどういうふうにしていこうかいうのを前向きに考えていくべきだということを言いました。時を戻すんじゃないしで。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 人口は。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） 人口は一般質問のときに話をしただけで、先月は話をしてないんで。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 減るか、増えるか。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） そもそもそういうことを話をするよりも、ここでは議長が言われるように、委員会をどういうふうにしていくかというところをやはりしっかり議論して、まとめるということが大事だということを前回も言いました。中原議員のほうから、改選後の日程が間に合うのであれば、改選後のメンバーで決めりゃええじゃないかという話

がありましたけども、日程的に大丈夫であれば、それも一理あるのかなという気がしておりますが、私の思いは、やはり2減にしたメンバーでやっぱりきちっと整理して、整理した段階で改選を迎えるというところが妥当かなというふうに思っておりますし、それは先月と変わりません。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） では、荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 光本先生も40年行政におられたわけで、貴重な意見が出るものと私は期待しておりましたが、結局、最高裁の判断もそうですけど、三権分立ですけどもね、衆議院の定数も人口なんですよ。人口割でどうなのかと。そういう議論もなしに過半数で一気に減らされたわけでございますけども、今から人口が何ぼまで増やせるのか。そういうのも踏まえながら定数も定めて、委員会も当然再編していかにかいけんだろうと。

ここに2年半前の発議書の内容をずっとわし読むんですが、発議の理由。人口が2万4,000を切ったと。このときはどんどん人口は減るんだという前提です。災害に遭うたから財政が逼迫するんだと。これも違いましたね。災害によって太りました。国や県からお金をいただいて、コロナでもそうです。だから、このときの発議の発想は全然真逆になったわけですね、現実的に。人口は多分私も増えると思って努力してるわけです。で、トンネルがただになって、もっと増えていくだろうし、道路の整備をすれば3万人でも夢ではないと思います。

ただ、議決をされたわけですから、これは変えようがないですよ。だから、その議論をした上でこの議決があればよろしいんですけども、前々から私は減るのを賛成であったという意見もあるんですが、やっぱり委員会で決まった以上は守るのが議員の役目だろうと思うんですね。意見が変わったからこうですというのを、やっぱりそのときにおったメンバーには説明すべきだと。これは人間性、人格の問題ですね。

議長らは、ああ、選挙変わったら人間変わったようなもんじゃけ、どうでもええんよと。数さえ集まればどうでもなるんだと、そういうにおいがぷんぷんしておるわけですね。中原先生が議決の後、数さえおりゃ何をしててもええんかと。これは議事録に載っくらんと思っておりますが、これが本音ですよ。





○議長（大瀬戸） ほかに御意見ございませんか。

諏訪本議員。

~~~~~○~~~~~

○7番（諏訪本） 先ほど光本議員も言われましたけども、中原議員がこの前、要するにここでこのたびやらなくても、改選後でも間に合うんじゃないんかという話があったんですよね。だから、間に合うならそうすりゃええし、間に合わないから今ここでやるんだと。それをまず最初に話をしとかないと、間に合うんなら来年の選挙後にすりゃええじゃないですか。その結論を教えてください。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） そうですね。その話が出ましたので、あといろいろ調べさせていただきました。例えば、この間の意見では、改選後、臨時議会のときに、議長以下役職を決めて、そのときに委員会も決めるんですが、そのときに新しいメンバーでこの委員会を決めればいいという話でしたが、今あるように、この委員会を決めるのにやっぱり時間がかかりますし、新しい人に何委員会と何委員会がどうでこうでというような議論を、その日のうちにはまず無理だと思います。やはり前もって準備をして、決めてもらって、その決まった条件に新しい人は好きなものを選ぶというような形でないと、ちょっと時間的に1日で全部を決めるなんてことはまず無理になりまして、それから議論を始めたら空白の時間が大分できます。ということです、やはりこれは改選前に条例で決めておくべきだろうと。

現に、何年か前に20人から16人に変えたときも、改選直前の3月議会で発議して、条例を変えております。前は20から16でしたので、常任委員会はそのままで、人数だけを減らしております。ですから、決めやすかったというのはあったでしょう。ですから、議運のメンバーだけの署名で発議をして、条例化しております。それが前回の例ですが、今回については人数だけ減らすだけじゃないので、いろいろ組みかえたりする必要があるので、前もってこうやってお話をしながら、皆さんの妥協点を見つけて、それで新しい常任委員会というものを立ち上げていくという段取りが要る、時間が要ると、プロセスが要るということで、今まだ早いんですけど、今から話をしているということでもあります。ですから、改選後に決めるという意見ではちょっと何かと不都合が多いということでもあります。どうでしょうか、皆さん。いいですか。

御意見ございませんか、今の説明について。よろしいですか。ですから、もし御異議

がなければ、3月議会、あるいは12月議会ですね。今年の12月議会か3月議会で発議をして条例化するというので、余裕を持てば12月でもいいのかなというふうには思っております。12月議会に条例化すれば、3月議会でそれに伴う予算化もスムーズにできるのかなというのがあります。

諏訪本議員。

~~~~~〇~~~~~

○7番（諏訪本） 今の議長の説明だったら、要するに日程的に委員会の内容であるとか、趣旨であるとか、そういったことは新しい議員さんには伝わらないから、十分理解できてないから、その日のうちに委員会を決定するのは難しいから、要するに来年度やるんじやなしに今年度やりたいというのが今の議長の説明だと思うんですが。

~~~~~〇~~~~~

○議長（大瀬戸） いいですか。そうじゃなくて、新しい人が難しいからというんじやなくて、例えば今でももうこれ3回目かな、話をしています。やっぱりこれぐらい時間がかかるし、まだまだ結論が出ないと思うんですよ、すぐには。それを改選後の臨時議会で決めるというのは、時間的に厳しいのかなという気がしています。

諏訪本議員。

~~~~~〇~~~~~

○7番（諏訪本） だから、時間的に厳しいということはあるんですけども、ただ、先ほどの私の話の続きをすると、新しい人が委員会についての理解やら、そういったことが十分でないからということもあるという、さっき言われたんですけども、それは極端なことを言や、ある程度時間を要するかもわからんけども、時間を要してもなかなか完全に、我々もこうして議員を2期ほどこうしてやらせてもらってますけども、全部が全部、なかなかよその委員会のことまで知らないし、だから全部分かって進むわけじゃないんで、私は、この前私が言った意見は、16を14にするなら、14についての考え方、根拠があった上での14でしょうということを私は言わせてもろうたんですけども、今度の定数の減については、今我々がこうして、ここで、今どういう内容で、どういうふうにするかというのをやるというのは、先ほどの荒瀬議員の話もありますけども、14人に対する、減のときのやっぱりこだわりの話もありますから、非常に難しいなというように私は思っております。

だから、できることならもうあっさり来年度、私は新しいメンバーで、分かる人も分

からん人もおるかもわからんけども、来年度やればいいんじゃないかなというように私は思っております。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） そのほかに御意見ありませんか。竹爪議員。

~~~~~○~~~~~

○6番（竹爪） 僕は常任委員会の再編についてですが、もし2つになった場合は広報特別委員会を常任委員会に格上げしていただきたいと思っております。3つの委員会ですけど、自分の中の構想としたら、広報特別委員会はダブってもいいという形の、3つの常任委員会に持っていったらいいんじゃないかなという自分の思い。いろいろ考えさせていただいております、自分なりに。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） という意見でございました。

ほかにございませんか。じゃあ、光本議員。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） 意見じゃなしで、質問なんですけど、今竹爪議員の広報特別委員会を常任委員会にという、そうなったらどうなるんですか。

~~~~~○~~~~~

○6番（竹爪） どうなるというのは、人数は一応枠は決めますけど、ダブってもいいという形ですよ、両方。仮に。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） それだったら変わらん、変えんでもええような気がします。

~~~~~○~~~~~

○6番（竹爪） だけど、特別委員会じゃなくて常任委員会に上げたい。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 何で常任なん。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ちょっと待ってくださいね。1人ずつしゃべってください。

じゃあ、竹爪議員。

~~~~~○~~~~~

○6番（竹爪） 特別委員会というものの自体が、僕、いろいろこだわりなんですけど、広報  
常任委員会でもいいんじゃないかなと。何で特別なのかというのは前から思いがあるんで  
すけど、何か特別粋みたいな形になっているのかなと。これはなぜ。

~~~~~○~~~~~

○7番（諏訪本） 昔からなんですかね。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） じゃあ、局長。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） 議会において、委員会を設置することができるという中で、常  
任委員会及び特別委員会という設置が認められております。その中で、通常業務を行っ  
ていく上について、要は審議したり、研究したりするのが常任委員会であり、それ以外、  
例えば緊急性を要したものとかが、以前例えば災害のこととか、そういったのは特別委員  
会という形の扱いをすることもできるという形で、二通りのやり方ができるんですけど  
も、今現状で広島県の中において広報特別委員会というか、広報委員会を常任委員会に  
しているのは神石高原町さんがそういう形を取られていたという事例がございます。

その中で、常任委員会に格上げというか、その辺もちょっと分かりませんが、名  
前です。常任委員会という形での、常時行えるという形のところはあるかなと。特別委  
員会であれば必要がなければ終わるということもできると思うんですけども、その辺  
が違うというぐらいであって、そこまで大きなあれはないかなとは思いますが、その辺  
もちろんすることは可能ですので、常時委員長がいらっしゃってという形のもので委員  
会として、広報常任委員会という形は全然問題はございません。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 光本議員。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） ということで、ちょっと確認なんですけど、竹爪議員の提案というのは、  
要は名前だけ変わるということですか。分かりました。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 名前が一番大きいかと思えます。要は、ほかの常任委員会と肩を並べ  
た存在でありますよというそういう、重要ですよという意味合いも含めてなっていると

思いますので。それから、正式にほかの常任委員会と同じ扱いでありますよと。例えば、研修にしたって、というような、そういうことですよ。意識的に、要するに意識的にも常任委員会クラスですと。今は少し何かちょっと、ちょっとワンランク下かなみたいなイメージがあるんですが、そういう意味はあると思います。

~~~~~〇~~~~~

○12番（荒瀬） そりゃ言い方がおかしいよ。上よの。

~~~~~〇~~~~~

○議長（大瀬戸） 要するに、同列という扱いという意味だと思います。

ほかにございませんか。

あと、今日は、前回尺田議員が、3つの、今のままで重複してやったらどうかという、重複ということですから、8人、9人ぐらいになるんですけど、8人、9人にはならんか。8人ぐらいになるんですよ、3つとも。2つに入るというイメージですが、そういった意見はどう思われますか。それをやってる市町もあるみたいですが。一番多いのは、やっぱり14人の定数で一番多いのは、2つの常任委員と、委員会ということが例としては多いようです。

~~~~~〇~~~~~

○10番（時光） 2つでええんじゃないん。

~~~~~〇~~~~~

○議長（大瀬戸） 2つの方向でいきましょうか。それで、今日のところは2つで行くというような大筋、そちらのほうでまとめさせていただきたいと思います。

どう組み合わせるかということになると思うんですね。それと、もう一つは竹爪議員が言われたように、もう1つ、広報委員会を常任委員会に。そっちのほうは重複ですが、今と同じやり方で、ただただ変わるというだけのものですが、そこも含めてまた皆さん、研究していただいたらなと思います。

例えば、前回出た意見としては、小学校とかの文教部門と、保育所のような、どう言ったらいいかな、民生部門ね、これを合わせたらちょうどいいんじゃないかというような意見もありました。そういったこともありますので、組み合わせとして。5つの部がありますから、執行部のほうに、それを分断しない程度のほうがいいと思うんですね。部ごとに分けたほうが、5つの部をだから2つに分けるというほうがいいのかというふうには思います。何か御意見あれば。

もしないようでしたら、次回、この路線で、次回はどのような組み合わせにしていくか  
ということを経論したいと思ひます。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○議長(大瀬戸) じゃあそうさせていただきます。

それでは、常任委員会の再編につきましてはこの程度として、次に移りたいと思ひま  
す。

続いて、その他ですが、何かありますか。事務局ありますか。

それでは、以上をもちまして全員協議会を終了といたします。

(閉会 9時59分)

上記の記録の内容が正確であることを証するため署名する。

熊野町議会議長

熊野町議会副議長